

# 防 災 教 育 最 終 報 告 書

## チ ャ レ ン ジ フ ラ ン

記 入 日 2010 年 1 月 15 日

### 1. 概 要

実践団体名	和歌山県立新翔高等学校 防災デザイン選択生		
連絡先	0735-31-7087		
プランタイトル	「防災紙芝居」の制作と古文書による過去の地震の調査		
プランの対象者	保育園児	対象とする 災害種別	地震・津波・火災

#### 【プランの目的・ここがポイント！】

「防災紙芝居」を昭和の東南海・南海地震の体験談や過去の資料をもとに高校生が自分たちで制作する。

近隣の保育園で防災紙芝居を上演したり、その内容に関するクイズを実施したりすることで、楽しみながら防災学習を実施することができる。

#### 【プランの概要】

- ・昭和の東南海・南海地震の体験談を聞く。
- ・過去の資料を地元の図書館や書籍により調査する。
- ・高校生が「防災デザイン」の授業を利用して、防災紙芝居を制作する。
- ・保育園で防災紙芝居の上演とクイズを実施する。

#### 【期待される効果・ここがおすすめ！】

高校生が「防災紙芝居」の制作をとおして、自分たちの住んでいる地域の特性や過去の地震を学習することで、防災意識の向上や将来の防災リーダーの育成につながる。

保育園で紙芝居を上演することで、小さい頃から防災に関する知識を身に付けることができる。

紙芝居のキャラクターとして、地域で馴染みのある「ヤタガラス」を採用した。

# 防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

## 2. プランの年間活動記録

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
2009年 6月		地震やそれに伴う災害 の学習	新宮市立図書館での調査
2009年 7月		地震やそれに伴う災害 の学習 他の「防災紙芝居」の 研究	
2009年 8月		紙芝居制作に関する学 習 クイズの考案	
2009年 9月	体験談の講師選定 と依頼	キャラクターの考案	
2009年 10月		ストーリーの作成	昭和の東南海・南海地震の体験談を 聞く
2009年 11月		ストーリーの改良 下絵の制作	
2009年 12月	保育園に訪問、上演 の日時等を決定	ストーリーの改良 絵の制作 クイズの完成	
2010年 1月		紙芝居の完成	保育園での上演

# 防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

## 3. 実践したプランの内容と成果

### 【実践プログラム①】

タイトル	防災紙芝居「じしんとマモルくん」上演
実施月日（曜日）	平成22年1月9日（土）
実施場所	白梅保育園
担当者または講師	担当者・講師等の区分：生徒 氏 名：戸部衿子、峪弥生 所属・役職等：新翔高等学校3年
所要時間または「コマ数×単位時間」	30分
プログラムのカテゴリ、形式	読み聞かせ
活動目的	遊び・楽しみながらの防災
達成目標	紙芝居を静かに聞いてもらう。楽しくクイズを実施する。
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	準備・自己紹介等（6分）→紙芝居（8分）→クイズ（10分）→終わりの挨拶（6分）  その後、保育士の方と懇談およびアンケートの依頼
準備、使用したもの・人材・道具、材料等	紙芝居、紙芝居用の枠、クイズ実施のための用紙 上演者2名、クイズ補助2名
参加人数	保育園児38名、保育士7名 計45名
経費の総額・内訳概要	特になし
成果と課題	【成果】読み語りは、緊張感のある読み方をすることができ、園児たちは紙芝居を静かに聞いていた。その後のクイズでは、楽しく実施することができた。 【課題】低年齢の園児が多く、クイズの内容や設問が分かりにくかったようで、改善の必要がある。
成果物	保育士の方によるアンケート（アドバイス）を得られたこと。

# 防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

## 4. 苦勞した点・工夫した点

<p><b>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<p>体験談をしていただいた方は、市役所の方に紹介していただいた。高齢の方や多方面で活動されている方と授業時間との調整に苦勞した。</p>
<p><b>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<p>当初の計画（古文書の調査）の変更を余儀なくされ、新たなプランを立てるための時間が必要であった。 ストーリーの作成にかなりの時間を要した。また、対象が保育園児のため、「ことば」や「内容」、上演時間について、図書館司書や保育士の方にアドバイスをいただいた。</p>
<p><b>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</b></p>	<p>上演日を学校が休業日で、かつ保育園がある日ということで今回は祝日を設定した。祝日の年長組の園児は、親とともに行動することが多く、この日は年少者がほとんどで、紙芝居の内容が十分に理解されていないかもしれない。ただ、先方との調整を考えると、保育園については休業日が望ましいように感じる。</p>

# 防災教育チャレンジプラン 最終報告書

## 5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	白梅保育園	紙芝居の上演
保護者・ PTAの組織		
地域組織		
国・地方公共団体・ 公共施設	新宮市役所 新宮市立図書館	地震体験談講師の紹介 過去の地震等に関する史料の紹介
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等		
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

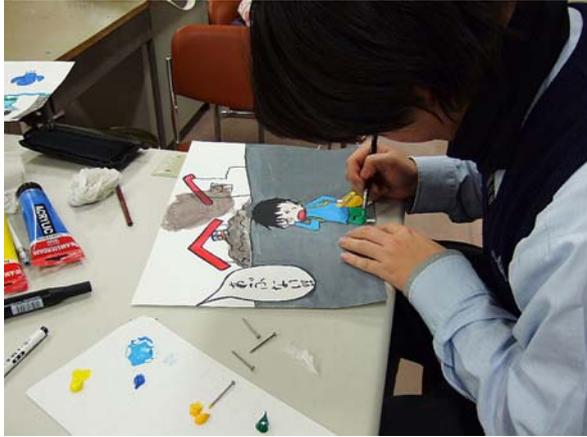
# 防災教育チャレンジプラン 最終報告書

## 7. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<b>成果として 得たこと</b>	<p>紙芝居の上演についての留意事項を保育士の方からアドバイスをいただき、今後の上演に際し、たいへん参考になった。また、クイズの実施についても同様で、今後設問の改善を図り、実施していきたい。</p> <p>紙芝居を高校生自らが制作することで、防災に関する知識や意識が高まるとともに、高校生と保育園児との交流を図ることができた。</p> <p>本校では図書館が中心となって取り組んでいる「読み語りボランティア」の生徒が選択生の中におり、新たな活動の場を設けることができた。</p>
<b>全体の反省・ 感想・課題</b>	<p>紙芝居の制作に時間を要してしまい、ストーリーは小学校と保育園・幼稚園の両方ができた。しかし上演が保育園の一か所ではできなかったことが残念である。ただ、そこでの貴重な意見は、今後の紙芝居上演に対し、参考になるものであり、来年度に生かしていきたい。</p> <p>授業時間を使っただけの制作が中心で、時間がかかったり、スムーズにいかなかったりしたが、「自分たちで紙芝居を作る」という行為が、ものづくりのたいへんさや達成感を持ったと思う。また、それが地域の子どもたちの役に立つということから、愛郷の精神も培われたと思う。</p>
<b>今後の 継続予定</b>	<p>防災科目を設置している本校は、今後も紙芝居の上演を継続することができる。2年生も来年度紙芝居の上演を理解しており、選択生の中には「読み語りボランティア」の生徒がいる。</p> <p>来年度は、多少の改良を加えた保育園・幼稚園用と小学校用を完成させ上演する予定である。また、その取り組みを「防災甲子園」に申し込み発表したいと考えている。</p>

# 防災教育 最終 チャレンジ 報告書

## 8. 自由記述欄 ①



学校での紙芝居制作風景



白梅保育園での上演風景

0才から5才児まで38名、保育士7名  
計45名の前で上演しました。



白梅保育園での上演風景

# 防災教育チャレンジラン 最終報告書

## 8. 自由記述欄 ②



紙芝居終了後、復習を兼ねたクイズの風景

キャラクターの名前を聞いているシーン。



クイズの風景

今回は、年齢が低いこともあり、35 問中簡単な問題を 10 問出しました。